

◎二千一年の燃料油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約

(略称) 燃料油汚染損害の民事責任条約

二〇〇一年 三月 二三日	ロンドンで採択
二〇〇八年 一月 二一日	効力発生
二〇一九年 五月 一五日	国会承認
二〇二〇年 六月 二六日	加入の閣議決定
二〇二〇年 七月 一日	加入書寄託
二〇二〇年 七月 二日	公布(条約第八号)
二〇二〇年 七月 二日	告示(外務省告示第二七四号)
二〇二〇年 一月 一日	我が国について効力発生

前 文	五三一
第 一 条 定 義	五四二
第 二 条 適 用 範 囲	五四三
第 三 条 船 舶 所 有 者 の 責 任	五四三
第 四 条 適 用 除 外	五四四
第 五 条 二 以 上 の 船 舶 が 関 係 す る 事 故	五四四
第 六 条 責 任 の 制 限	五四四
第 七 条 強 制 保 険 そ の 他 の 金 銭 上 の 保 証	五四五

第八条	期間制限	五四八
第九条	管轄権	五四八
第十条	承認及び執行	五四八
第十一条	条約の優先に関する条項	五四九
第十二条	署名、批准、受諾、承認及び加入	五四九
第十三条	二以上の法制を有する国	五五〇
第十四条	効力発生	五五〇
第十五条	廃棄	五五一
第十六条	改正	五五一
第十七条	寄託者	五五一
第十八条	国際連合への送付	五五二
第十九条	言語	五五二
末文		五五二
附属書		五五三

二千一年の燃料油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約

この条約の締約国は、

千九百八十二年の海洋法に関する国際連合条約第百九十四条において、いずれの国も、海洋環境の汚染を防止し、軽減し、及び規制するため、全ての必要な措置をとると規定されていることを想起し、

同条約第二百三十五条において、いずれの国も、海洋環境の汚染によって生ずる全ての損害に関し迅速かつ適正な賠償及び補償を確保するため、国際法の関連規則を一層発展させるために協力すると規定されていることを想起し、

千九百九十二年の油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約及び千九百九十二年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立に関する国際条約が、船舶によりばら積みで海上を輸送される油の流出又は排出による汚染によって生ずる損害を被った者に対して賠償及び補償が行われることを確保することに成功していることに留意し、

千九百九十六年の危険物質及び有害物質の海上運送に関連する損害に対する責任並びに賠償及び補償に関する国際条約が、危険物質及び有害物質の海上運送に関連する事故によって生ずる損害に関し適正で迅速かつ効果的な賠償及び補償を行うために採択されたことに留意し、

あらゆる形態の油による汚染についての無過失責任であって、責任の適当な限度額と結び付いたものを確立することが重要であることを認め、

船舶からの燃料油の流出又は排出による汚染によって生ずる損害に関し適正で迅速かつ効果的な賠償の支払を確保するために補完的措置が必要であることを考慮し、

このような場合において責任についての問題を解決し、及び適正な賠償を行うために統一かつ国際的な規則及び手続を採択することを希望して、
次のとおり協定した。

INTERNATIONAL CONVENTION ON CIVIL LIABILITY FOR BUNKER OIL POLLUTION DAMAGE, 2001

The States Parties to this Convention,

RECALLING article 194 of the United Nations Convention on the Law of the Sea, 1982, which provides that States shall take all measures necessary to prevent, reduce and control pollution of the marine environment,

RECALLING ALSO article 235 of that Convention, which provides that, with the objective of assuring prompt and adequate compensation in respect of all damage caused by pollution of the marine environment, States shall co-operate in the further development of relevant rules of international law,

NOTING the success of the International Convention on Civil Liability for Oil Pollution Damage, 1992 and the International Convention on the Establishment of an International Fund for Compensation for Oil Pollution Damage, 1992, in ensuring that compensation is available to persons who suffer damage caused by pollution resulting from the escape or discharge of oil carried in bulk at sea by ships,

NOTING ALSO the adoption of the International Convention on Liability and Compensation for Damage in Connection with the Carriage of Hazardous and Noxious Substances by Sea, 1996 in order to provide adequate, prompt and effective compensation for damage caused by incidents in connection with the carriage by sea of hazardous and noxious substances,

RECOGNIZING the importance of establishing strict liability for all forms of oil pollution which is linked to an appropriate limitation of the level of that liability,

CONSIDERING that complementary measures are necessary to ensure the payment of adequate, prompt and effective compensation for damage caused by pollution resulting from the escape or discharge of bunker oil from ships,

DESIRING to adopt uniform international rules and procedures for determining questions of liability and providing adequate compensation in such cases,

HAVE AGREED as follows:

燃料油汚染損害の民事責任条約

第一条 定義

この条約の適用上、

- 1 「船舶」とは、全ての型式の海上航行船舶及び海上用舟艇をいう。
- 2 「者」とは、個人若しくは組合又は公法上若しくは私法上の団体（国及びその行政区画を含むものとし、法人であるか否かを問わない。）をいう。
- 3 「船舶所有者」とは、船舶の所有者（登録所有者を含む。）、管理人及び運航者並びに裸備船舶者をいう。
- 4 「登録所有者」とは、船舶の所有者として登録されている者又は登録がない場合には船舶を所有する者をいう。ただし、国が所有する船舶であって、当該国において当該船舶の運航者として登録されている会社が運航するものについては、「登録所有者」とは、当該会社をいう。
- 5 「燃料油」とは、船舶の運航又は推進に使用しており、又は使用することを予定している炭化水素の鉱物油（潤滑油を含む。）及びその残留物をいう。
- 6 「民事責任条約」とは、千九百九十二年の油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約（その改正を含む。）をいう。
- 7 「防止措置」とは、いずれかの者が汚染損害を防止し、又は最小限にするため事故の発生後にとる合理的な措置をいう。
- 8 「事故」とは、一の出来事又は同一の原因による一連の出来事であって、汚染損害を生じさせるもの又は汚染損害を生じさせる重大なかつ急迫した脅威をもたらすものをいう。
- 9 「汚染損害」とは、次の損失又は損害をいう。
 - (a) 船舶からの燃料油の流出又は排出（その場所のいかんを問わない。）による汚染によって当該船舶の外部において生ずる損失又は損害。ただし、環境の悪化について行われる賠償（環境の悪化による利益の喪失に関するものを除く。）は、回復のための合理的な措置であって実際にとられた又はとられるものの費用に係る賠償に限る。
 - (b) 防止措置の費用及び防止措置によって生ずる損失又は損害
- 10 「船舶の登録国」とは、登録されている船舶については当該船舶が登録されている国をいい、登録されていない船舶については当該船舶の旗国をいう。

五四二

Article 1

Definitions

For the purposes of this Convention:

- 1 "Ship" means any seagoing vessel and seaborne craft, of any type whatsoever.
- 2 "Person" means any individual or partnership or any public or private body, whether corporate or not, including a State or any of its constituent subdivisions.
- 3 "Shipowner" means the owner, including the registered owner, bareboat charterer, manager and operator of the ship.
- 4 "Registered owner" means the person or persons registered as the owner of the ship or, in the absence of registration, the person or persons owning the ship. However, in the case of a ship owned by a State and operated by a company which in that State is registered as the ship's operator, "registered owner" shall mean such company.
- 5 "Bunker oil" means any hydrocarbon mineral oil, including lubricating oil, used or intended to be used for the operation or propulsion of the ship, and any residues of such oil.
- 6 "Civil Liability Convention" means the International Convention on Civil Liability for Oil Pollution Damage, 1992, as amended.
- 7 "Preventive measures" means any reasonable measures taken by any person after an incident has occurred to prevent or minimize pollution damage.
- 8 "Incident" means any occurrence or series of occurrences having the same origin, which causes pollution damage or creates a grave and imminent threat of causing such damage.
- 9 "Pollution damage" means:
 - (a) loss or damage caused outside the ship by contamination resulting from the escape or discharge of bunker oil from the ship, wherever such escape or discharge may occur, provided that compensation for impairment of the environment other than loss of profit from such impairment shall be limited to costs of reasonable measures of reinstatement actually undertaken or to be undertaken; and
 - (b) the costs of preventive measures and further loss or damage caused by preventive measures.
- 10 "State of the ship's registry" means, in relation to a registered ship, the State of registration of the ship and, in relation to an unregistered ship, the State whose flag the ship is entitled to fly.

適用範囲

11 「総トン数」とは、千九百六十九年の船舶のトン数の測度に関する国際条約附属書Ⅰに定めるトン数の測度に関する規則に従って計算される総トン数をいう。

12 「機関」とは、国際海事機関をいう。

13 「事務局長」とは、機関の事務局長をいう。

第二条 適用範囲

この条約は、次のものについてのみ適用する。

- (a) 次の領域及び水域において生ずる汚染損害
 - (i) 締約国の領域（領海を含む。）
 - (ii) 国際法に従って設定された締約国の排他的経済水域。排他的経済水域を設定していない締約国については、当該締約国が国際法に従って決定する水域であつて、当該締約国の領海に接続し、かつ、当該締約国の領海の幅を測定するための基線から二百海里を超えないもの

(b) (a)に規定する汚染損害を防止し、又は最小限にするための防止措置（とられる場所のいかんを問わない。）

第三条 船舶所有者の責任

1 事故の発生の際における船舶所有者は、3及び4に規定する場合を除くほか、船舶内の燃料油又は船舶から流出し、若しくは排出される燃料油によって生ずる汚染損害について責任を負う。ただし、事故が同一の原因による一連の出来事から成る場合には、最初の出来事の発生の際における船舶所有者が責任を負う。

2 二以上の者が1の規定に従って責任を負う場合には、これらの者は、連帯して責任を負う。

3 船舶所有者は、次のいずれかのことを証明した場合には、汚染損害について責任を負わない。

- (a) 汚染損害が、戦争、敵対行為、内乱、暴動又は例外的で不可避かつ不可抗力的な性質を有する自然現象によつてもたらされたこと。
- (b) 汚染損害が、専ら、損害を生じさせることを意図した第三者の作為又は不作為によつて生じたこと。

燃料油汚染損害の民事責任条約

11 "Gross tonnage" means gross tonnage calculated in accordance with the tonnage measurement regulations contained in Annex 1 of the International Convention on Tonnage Measurement of Ships, 1969.

12 "Organization" means the International Maritime Organization.

13 "Secretary-General" means the Secretary-General of the Organization.

Article 2

Scope of application

This Convention shall apply exclusively:

- (a) to pollution damage caused:
- (i) in the territory, including the territorial sea, of a State Party; and
- (ii) in the exclusive economic zone of a State Party, established in accordance with international law, or, if a State Party has not established such a zone, in an area beyond and adjacent to the territorial sea of that State determined by that State in accordance with international law and extending not more than 200 nautical miles from the baselines from which the breadth of its territorial sea is measured;

(b) to preventive measures, wherever taken, to prevent or minimize such damage.

Article 3

Liability of the shipowner

1 Except as provided in paragraphs 3 and 4, the shipowner at the time of an incident shall be liable for pollution damage caused by any bunker oil on board or originating from the ship, provided that, if an incident consists of a series of occurrences having the same origin, the liability shall attach to the shipowner at the time of the first of such occurrences.

2 Where more than one person is liable in accordance with paragraph 1, their liability shall be joint and several.

3 No liability for pollution damage shall attach to the shipowner if the shipowner proves that:

- (a) the damage resulted from an act of war, hostilities, civil war, insurrection or a natural phenomenon of an exceptional, inevitable and irresistible character; or
- (b) the damage was wholly caused by an act or omission done with the intent to cause damage by a third party; or

燃料油汚染損害の民事責任条約

五四四

- (c) 汚染損害が、専ら、灯台その他の航行援助施設の維持について責任を有する政府その他当局のその維持についての過失その他不法の行為によって生じたこと。
- 4 船舶所有者は、汚染損害を被った者の作為若しくは不作為（損害を生じさせることを意図したものに限る。）又は過失によって当該汚染損害の全部又は一部がもたらされたことを証明した場合には、当該者に対する責任の全部又は一部を免れることができる。
- 5 汚染損害の賠償の請求は、この条約に基づく場合を除くほか、船舶所有者に対して行つてはならない。
- 6 この条約のいかなる規定も、船舶所有者がこの条約との関係を離れて有する求償権を害するものではない。

適用除外

第四条 適用除外

- 1 この条約は、民事責任条約に定義する汚染損害については、適用しない（当該汚染損害についての賠償が民事責任条約に従つて支払われるか否かを問わない。）。
- 2 この条約は、3に規定する場合を除くほか、軍艦、軍の補助艦及び国が所有し、又は運航する他の船舶であつて政府の非商業的業務にのみ使用しているものについては、適用しない。
- 3 締約国は、この条約を2に規定する軍艦その他の船舶について適用することを決定することができる。
- この場合には、当該締約国は、事務局長に対し、その適用の条件を明示した通告を行う。
- 4 締約国が所有する船舶であつて商業的目的に使用されているものに關しては、各締約国は、第九条に規定する管轄権の下での訴訟に服するものとし、主権国家としての自国の地位に基づく全ての抗弁の権利を放棄する。

第五条 二以上の船舶が関係する事故

二以上の船舶が関係する事故が生じ、これによつて汚染損害が生じた場合には、関係する全ての船舶の船舶所有者は、第三条の規定に基づいて責任を免れる場合を除くほか、合理的に分割することができない汚染損害の全体につき連帯して責任を負う。

第六条 責任の制限

責任の制限

- (c) the damage was wholly caused by the negligence or other wrongful act of any Government or other authority responsible for the maintenance of lights or other navigational aids in the exercise of that function.

4 If the shipowner proves that the pollution damage resulted wholly or partially either from an act or omission done with intent to cause damage by the person who suffered the damage or from the negligence of that person, the shipowner may be exonerated wholly or partially from liability to such person.

5 No claim for compensation for pollution damage shall be made against the shipowner otherwise than in accordance with this Convention.

6 Nothing in this Convention shall prejudice any right of recourse of the shipowner which exists independently of this Convention.

Article 4

Exclusions

1 This Convention shall not apply to pollution damage as defined in the Civil Liability Convention, whether or not compensation is payable in respect of it under that Convention.

2 Except as provided in paragraph 3, the provisions of this Convention shall not apply to warships, naval auxiliary or other ships owned or operated by a State and used, for the time being, only on Government non-commercial service.

3 A State Party may decide to apply this Convention to its warships or other ships described in paragraph 2, in which case it shall notify the Secretary-General thereof specifying the terms and conditions of such application.

4 With respect to ships owned by a State Party and used for commercial purposes, each State shall be subject to suit in the jurisdictions set forth in article 9 and shall waive all defences based on its status as a sovereign State.

Article 5

Incidents involving two or more ships

When an incident involving two or more ships occurs and pollution damage results therefrom, the shipowners of all the ships concerned, unless exonerated under article 3, shall be jointly and severally liable for all such damage which is not reasonably separable.

Article 6

Limitation of liability

この条約のいかなる規定も、船舶所有者及び保険その他の金銭上の保証を提供する者が千九百七十六年の海事債権についての責任の制限に関する条約（その改正を含む。）等の適用可能な国内の又は国際的な制度に基づいて責任を制限する権利に影響を及ぼすものではない。

第七条 強制保険その他の金銭上の保証

1 総トン数が千トンを超え、かつ、締約国に登録されている船舶の登録所有者は、責任の制限に関する適用可能な国内の又は国際的な制度に基づく責任の限度額に等しい額（いかなる場合にも、千九百七十六年の海事債権についての責任の制限に関する条約（その改正を含む。）に従って計算される額を超えない額とする。）において汚染損害についての自己の責任を担保するため、保険その他の金銭上の保証（銀行又はこれに類する金融機関の保証等）を維持しなければならない。

2 保険その他の金銭上の保証がこの条約に従って効力を有していることを証明する証明書は、1に定める要件が満たされていることが締約国の適当な当局によって確認された後に、各船舶に対して発給される。締約国に登録されている船舶については、当該証明書は、船舶の登録国の適当な当局により発給され、又は公認される。締約国に登録されていない船舶については、当該証明書は、いずれかの締約国の適当な当局により発給され、又は公認されることができ、当該証明書については、この条約の附属書に定める様式によるものとし、次の事項を記載する。

- (a) 船名、船舶番号又は信号符字及び船籍港
- (b) 登録所有者の氏名又は名称及び主たる営業所の所在地
- (c) 国際海事機関船舶識別番号
- (d) 保証の種類及び期間
- (e) 保険者その他の保証を提供する者の氏名又は名称及び主たる営業所の所在地並びに適当な場合には保険契約又は保証契約が行われた営業所の所在地
- (f) 証明書の有効期間（保険その他の保証の有効期間を超えないものとする。）

3 (a) 締約国は、自国の認定する団体に對し、2に規定する証明書を発給する権限を与えることができる。締約国により権限を与えられた団体は、証明書を発給することによりその旨を当該締約国に通報する。当該締約国は、いかなる場合にも、当該団体によって発給される証明書の完全性及び正確性を十分に保証するものとし、この義務の履行のために必要な措置をとる。

燃料油汚染損害の民事責任条約

Nothing in this Convention shall affect the right of the shipowner and the person or persons providing insurance or other financial security to limit liability under any applicable national or international regime, such as the Convention on Limitation of Liability for Maritime Claims, 1976, as amended.

Article 7

Compulsory insurance or financial security

1 The registered owner of a ship having a gross tonnage greater than 1000 registered in a State Party shall be required to maintain insurance or other financial security, such as the guarantee of a bank or similar financial institution, to cover the liability of the registered owner for pollution damage in an amount equal to the limits of liability under the applicable national or international limitation regime, but in all cases, not exceeding an amount calculated in accordance with the Convention on Limitation of Liability for Maritime Claims, 1976, as amended.

2 A certificate attesting that insurance or other financial security is in force in accordance with the provisions of this Convention shall be issued to each ship after the appropriate authority of a State Party has determined that the requirements of paragraph 1 have been complied with. With respect to a ship registered in a State Party such certificate shall be issued or certified by the appropriate authority of the State of the ship's registry; with respect to a ship not registered in a State Party it may be issued or certified by the appropriate authority of any State Party. This certificate shall be in the form of the model set out in the annex to this Convention and shall contain the following particulars:

- (a) name of ship, distinctive number or letters and port of registry;
- (b) name and principal place of business of the registered owner;
- (c) IMO ship identification number;
- (d) type and duration of security;
- (e) name and principal place of business of insurer or other person giving security and, where appropriate, place of business where the insurance or security is established;
- (f) period of validity of the certificate which shall not be longer than the period of validity of the insurance or other security.

3 (a) A State Party may authorize either an institution or an organization recognized by it to issue the certificate referred to in paragraph 2. Such institution or organization shall inform that State of the issue of each certificate. In all cases, the State Party shall fully guarantee the completeness and accuracy of the certificate so issued and shall undertake to ensure the necessary arrangements to satisfy this obligation.

燃料油汚染損害の民事責任条約

五四六

- (b) 締約国は、事務局長に対して次の事項を通告する。
 - (i) 自国の認定する団体に与えた権限についてその責任の範囲及び条件
 - (ii) 自国の認定する団体に与えた権限の取消し
 - (iii) 自国の認定する団体に与えた権限が有効となる日又は当該権限の取消しが効力を生ずる日
- 締約国が自国の認定する団体に与えた権限は、これを与えた旨の通告が事務局長に対して行われた日から三箇月目の日前には、有効とされない。
- (c) この3の規定に従い証明書を発給する権限を与えられた団体は、証明書を発給した時の要件が維持されていない場合には、少なくとも、当該証明書を取り消す権限を与えられる。当該団体は、いかなる場合においても、自己が国に代わって発給した証明書の取消しを当該国に報告する。
- 4 証明書は、発給する国の公用語で作成する。使用される言語が英語、フランス語又はスペイン語でない場合には、これらの言語のいずれかによる訳文を付するものとし、当該国が決定するときは、当該国の公用語による記載を省略することができる。
- 5 証明書は、船舶内に備え置くものとし、その写しは、当該船舶の登録簿を保管する当局又は当該船舶がいずれの締約国にも登録されていない場合には当該証明書を発給し、若しくは公認した当局に寄託する。
- 6 保険その他の金銭上の保証は、2の規定に従って証明書に記載される保険又は保証の有効期間の満了以外の理由により、5に規定する当局に対して終了の通報が行われた日から三箇月の期間が満了する前に効力を失うことがあるものである場合には、この条に定める要件を満たすこととはならない。ただし、当該期間内に、証明書が当該当局に引き渡され、又は新たな証明書が発給されたことを条件として効力を失う場合は、この限りでない。この6の規定は、保険又は保証がこの条に定める要件を満たさなくなるような変更についても、同様に適用する。
- 7 船舶の登録国は、この条の規定に従うことを条件として、証明書の発給要件及び効力要件を定める。
- 8 この条約のいかなる規定も、締約国が他の国又は機関その他の国際機関から得た情報であつて、この条約の目的のために保険その他の金銭上の保証を提供する者の財政状態に関連するものを当該締約国が利用することを妨げるものと解してはならない。この場合において、当該情報を利用する締約国は、2の規定により必要とされる証明書を発給する国としての責任を解除されない。

- (b) A State Party shall notify the Secretary-General of:
 - (i) the specific responsibilities and conditions of the authority delegated to an institution or organization recognised by it;
 - (ii) the withdrawal of such authority; and
 - (iii) the date from which such authority or withdrawal of such authority takes effect.
- An authority delegated shall not take effect prior to three months from the date on which notification to that effect was given to the Secretary-General.
- (c) The institution or organization authorized to issue certificates in accordance with this paragraph shall, as a minimum, be authorized to withdraw these certificates if the conditions under which they have been issued are not maintained. In all cases the institution or organization shall report such withdrawal to the State on whose behalf the certificate was issued.
- 4 The certificate shall be in the official language or languages of the issuing State. If the language used is not English, French or Spanish, the text shall include a translation into one of these languages and, where the State so decides, the official language of the State may be omitted.
- 5 The certificate shall be carried on board the ship and a copy shall be deposited with the authorities who keep the record of the ship's registry or, if the ship is not registered in a State Party, with the authorities issuing or certifying the certificate.
- 6 An insurance or other financial security shall not satisfy the requirements of this article if it can cease, for reasons other than the expiry of the period of validity of the insurance or security specified in the certificate under paragraph 2 of this article, before three months have elapsed from the date on which notice of its termination is given to the authorities referred to in paragraph 5 of this article, unless the certificate has been surrendered to these authorities or a new certificate has been issued within the said period. The foregoing provisions shall similarly apply to any modification which results in the insurance or security no longer satisfying the requirements of this article.
- 7 The State of the ship's registry shall, subject to the provisions of this article, determine the conditions of issue and validity of the certificate.
- 8 Nothing in this Convention shall be construed as preventing a State Party from relying on information obtained from other States or the Organization or other international organisations relating to the financial standing of providers of insurance or financial security for the purposes of this Convention. In such cases, the State Party relying on such information is not relieved of its responsibility as a State issuing the certificate required by paragraph 2.

9 締約国の権限に基づいて発給され、又は公認された証明書（いずれの締約国にも登録されていない船舶について発給され、又は公認されたものを含む。）は、他の締約国により、この条約の適用上承認され、及び当該他の締約国が発給し、又は公認した証明書と同一の効力を有するものと認められる。締約国は、証明書に記載された保険者又は保証提供者がこの条約によって課される義務を履行する資力を有しないと認める場合には、いつでも、当該証明書を発給し、又は公認した国に対して協議を要請することができる。

10 汚染損害の賠償の請求は、汚染損害についての登録所有者の責任を担保する金銭上の保証を提供する保険者その他の者に対して直接に提起することができる。この場合には、被告は、船舶所有者が援用する（とができたであろう抗弁（前条の規定に基づく責任の制限を含み、船舶所有者の破産及び清算を除く。）を援用することができる。また、被告は、船舶所有者が同条の規定に基づいて責任を制限することができる場合であっても、1の規定に従って維持することが必要とされる保険その他の金銭上の保証の額に等しい額に責任を制限することができる。さらに、被告は、汚染損害が船舶所有者の悪意によって生じたことの抗弁を援用することができるが、船舶所有者により被告に対して提起される訴えにおいて援用することができたであろう他のいかなる抗弁も援用してはならない。被告は、いかなる場合にも、船舶所有者が訴訟手続に参加することを要求する権利を有する。

11 締約国は、自国を旗国とする船舶であってこの条の規定が適用されるものについては、2又は14の規定に従って証明書が発給されていない限り、いかなる時にも運航を認めてはならない。

12 各締約国は、この条の規定に従うことを条件として、自国の領域内の港に入港し、若しくはそこから出港する船舶又は自国の領海内にある沖合の施設に到着し、若しくはそこから出港する船舶であって、総トン数が千トンを超えるもの（登録の場所のいかんを問わない。）につき、自国の国内法令により、1に定める額に相当する保険その他の保証が効力を有していることを確保する。

13 締約国は、5の規定にかかわらず、船舶が自国の領域内の港に入港し、若しくはそこから出港する時又は船舶が自国の領域内にある沖合の施設に到着し、若しくはそこから出港する時に、12の規定の適用上、2の規定により必要とされる証明書を船舶内に備え置き、又は提出することを当該船舶に対して要求しない旨を事務局長に通告することができる。ただし、当該証明書を発給する締約国が、全ての締約国にとって利用可能な電子的な様式による記録であって、当該証明書の存在を証明し、及び締約国が12に定める義務を履行することを可能とするものを保持している旨を事務局長に通告していることを条件とする。

9 Certificates issued or certified under the authority of a State Party shall be accepted by other States Parties for the purposes of this Convention and shall be regarded by other States Parties as having the same force as certificates issued or certified by them even if issued or certified in respect of a ship not registered in a State Party. A State Party may at any time request consultation with the issuing or certifying State should it believe that the insurer or guarantor named in the insurance certificate is not financially capable of meeting the obligations imposed by this Convention.

10 Any claim for compensation for pollution damage may be brought directly against the insurer or other person providing financial security for the registered owner's liability for pollution damage. In such a case the defendant may invoke the defences (other than bankruptcy or winding up of the shipowner) which the shipowner would have been entitled to invoke, including limitation pursuant to article 6. Furthermore, even if the shipowner is not entitled to limitation of liability according to article 6, the defendant may limit liability to an amount equal to the amount of the insurance or other financial security required to be maintained in accordance with paragraph 1. Moreover, the defendant may invoke the defence that the pollution damage resulted from the wilful misconduct of the shipowner, but the defendant shall not invoke any other defence which the defendant might have been entitled to invoke in proceedings brought by the shipowner against the defendant. The defendant shall in any event have the right to require the shipowner to be joined in the proceedings.

11 A State Party shall not permit a ship under its flag to which this article applies to operate at any time, unless a certificate has been issued under paragraphs 2 or 14.

12 Subject to the provisions of this article, each State Party shall ensure, under its national law, that insurance or other security, to the extent specified in paragraph 1, is in force in respect of any ship having a gross tonnage greater than 1000, wherever registered, entering or leaving a port in its territory, or arriving at or leaving an offshore facility in its territorial sea.

13 Notwithstanding the provisions of paragraph 5, a State Party may notify the Secretary-General that, for the purposes of paragraph 12, ships are not required to carry on board or to produce the certificate required by paragraph 2, when entering or leaving ports or arriving at or leaving from offshore facilities in its territory, provided that the State Party which issues the certificate required by paragraph 2 has notified the Secretary-General that it maintains records in an electronic format, accessible to all States Parties, attesting the existence of the certificate and enabling States Parties to discharge their obligations under paragraph 12.

14 締約国が所有するいずれかの船舶について保険その他の金銭上の保証が維持されていない場合には、この条の関係規定は、当該船舶については、適用しない。もっとも、当該船舶は、船舶の登録国の適当な当局が発給する証明書（当該船舶が当該船舶の登録国の所有するものであること及び当該船舶の責任が1の規定に従って定める責任の制限の範囲内で担保されていることを明記しているもの）を備え置くものとする。当該証明書は、できる限り2に定める様式に従うものとする。

15 いずれの国も、この条約の批准、受諾若しくは承認若しくはこの条約への加入の時に又はその後いつでも、当該国の第二条(a)(i)に規定する領域内のみを運航する船舶については、この条の規定を適用しないことを宣言することができる。

期間制限

第八条 期間制限

この条約に基づいて賠償を請求する権利は、損害が生じた日から三年以内にこの条約に基づいて訴えが提起されない場合には、消滅する。ただし、訴えは、いかなる場合にも、損害を生じさせた事故の発生の日から六年の期間が満了した後は、提起してはならない。事故が一連の出来事から成る場合には、当該六年の期間は、最初の出来事の発生の日から起算する。

管轄権

第九条 管轄権

1 事故が一若しくは二以上の締約国の領域（領海を含む。）若しくは第二条(a)(ii)に規定する水域において汚染損害を生じさせた場合又は当該領域若しくは水域における汚染損害を防止し、若しくは最小限にするために防止措置がとられた場合には、船舶所有者又は保険者その他の保証を提供する者であつて船舶所有者の責任を担保するものに対する賠償の請求の訴えは、当該締約国の裁判所にのみ提起することができる。

2 1の規定に基づいて提起される訴えについては、各被告に対し合理的な通告を行う。

3 各締約国は、自国の裁判所がこの条約に基づく賠償の請求の訴えについての管轄権を有する（ことを確保する）。

第十条 承認及び執行

承認及び執行

1 前条の規定により管轄権を有する裁判所が下した判決であつて、当該判決のあつた国において執行することが可能であり、かつ、再び通常的方式で審理されることがないものは、次の場合を除くほか、いずれ

14 If insurance or other financial security is not maintained in respect of a ship owned by a State Party, the provisions of this article relating thereto shall not be applicable to such ship, but the ship shall carry a certificate issued by the appropriate authority of the State of the ship's registry stating that the ship is owned by that State and that the ship's liability is covered within the limit prescribed in accordance with paragraph 1. Such a certificate shall follow as closely as possible the model prescribed by paragraph 2.

15 A State may, at the time of ratification, acceptance, approval of, or accession to this Convention, or at any time thereafter, declare that this article does not apply to ships operating exclusively within the area of that State referred to in article 2(a)(i).

Article 8

Time limits

Rights to compensation under this Convention shall be extinguished unless an action is brought thereunder within three years from the date when the damage occurred. However, in no case shall an action be brought more than six years from the date of the incident which caused the damage. Where the incident consists of a series of occurrences, the six-years' period shall run from the date of the first such occurrence.

Article 9

Jurisdiction

1 Where an incident has caused pollution damage in the territory, including the territorial sea, or in an area referred to in article 2(a)(ii) of one or more States Parties, or preventive measures have been taken to prevent or minimise pollution damage in such territory, including the territorial sea, or in such area, actions for compensation against the shipowner, insurer or other person providing security for the shipowner's liability may be brought only in the courts of any such States Parties.

2 Reasonable notice of any action taken under paragraph 1 shall be given to each defendant.

3 Each State Party shall ensure that its courts have jurisdiction to entertain actions for compensation under this Convention.

Article 10

Recognition and enforcement

1 Any judgment given by a Court with jurisdiction in accordance with article 9 which is enforceable in the State of origin where it is no longer subject to ordinary forms of review, shall be recognised in any State Party, except:

条約の優先に関する条項

署名、批准、承認及び加入

の締約国においても承認される。

- (a) 当該判決が詐欺によって得られた場合
- (b) 被告が、合理的な通告を受けず、及び自己の主張を陳述するための公平な機会を与えられなかった場合

2 1の規定に基づいて承認された判決は、各締約国において、必要とされる手続がとられたときは、執行力を付与される。当該手続は、事件の本案の審理を認めるものであつてはならない。

第十一条 条約の優先に関する条項

この条約は、この条約が署名のために開放される日に効力を生じており、又は署名、批准若しくは加入のために開放されている他の条約がこの条約と抵触する場合には、その抵触する限度においてのみ、当該他の条約に優先する。ただし、この条の規定は、締約国がこの条約の非締約国に対して当該他の条約により負っている義務に影響を及ぼすものではない。

第十二条 署名、批准、受諾、承認及び加入

1 この条約は、機関の本部において、二十一年十月一日から二十二年九月三十日まで署名のため、その後加入のため、開放しておく。

2 いずれの国も、次のいずれかの方法により、この条約に拘束されることについての同意を表明することができる。

- (a) 批准、受諾又は承認を条件とすることなく署名すること。
- (b) 批准、受諾又は承認を条件として署名した後、批准し、又は承認すること。
- (c) 加入すること。

3 批准、受諾、承認又は加入は、そのための文書を事務局長に寄託することによつて行つて。

4 この条約の改正が全ての締約国について効力を生じた後又は当該改正の効力発生に必要な全ての措置が全ての締約国についてとられた後に寄託される批准書、受諾書、承認書又は加入書は、改正されたこの条約に係るものとみなす。

- (a) where the judgement was obtained by fraud; or
- (b) where the defendant was not given reasonable notice and a fair opportunity to present his or her case.

2 A judgement recognised under paragraph 1 shall be enforceable in each State Party as soon as the formalities required in that State have been complied with. The formalities shall not permit the merits of the case to be re-opened.

Article 11

Supercession Clause

This Convention shall supersede any Convention in force or open for signature, ratification or accession at the date on which this Convention is opened for signature, but only to the extent that such Convention would be in conflict with it; however, nothing in this article shall affect the obligations of States Parties to States not party to this Convention arising under such Convention.

Article 12

Signature, ratification, acceptance, approval and accession

1 This Convention shall be open for signature at the Headquarters of the Organization from 1 October 2001 until 30 September 2002 and shall thereafter remain open for accession.

2 States may express their consent to be bound by this Convention by:

- (a) signature without reservation as to ratification, acceptance or approval;
- (b) signature subject to ratification, acceptance or approval followed by ratification, acceptance or approval; or
- (c) accession.

3 Ratification, acceptance, approval or accession shall be effected by the deposit of an instrument to that effect with the Secretary-General.

4 Any instrument of ratification, acceptance, approval or accession deposited after the entry into force of an amendment to this Convention with respect to all existing State Parties, or after the completion of all measures required for the entry into force of the amendment with respect to those State Parties shall be deemed to apply to this Convention as modified by the amendment.

燃料油汚染損害の民事責任条約

第十三条 二以上の法制を有する国

1 この条約が対象とする事項に関してそれぞれ異なる法制が適用される二以上の地域をその領域内に有する国は、署名、批准、受諾、承認又は加入の時に、この条約を自国の領域内の全ての地域について適用するか又は一若しくは二以上の地域についてのみ適用するかを宣言することができるものとし、別の宣言を行うことによりいつでもこの宣言を修正することができる。

2 1に規定する宣言は、事務局長に通告されるものとし、この条約が適用される地域を明示する。

3 1に規定する宣言を行った締約国については、

(a) 第一条4の「登録所有者」の定義に規定する「国」とは、2に規定する地域をいう。

(b) 「船舶の登録国」及び強制保険の証明書との関係における「発給し、又は公認した国」とは、それぞれ、船舶が登録された地域及び当該証明書を発給し、又は公認した地域をいう。

(c) この条約中「国内法令」とは、関係する地域の法令をいう。

(d) 第九条及び第十条に規定する「裁判所」及び「いずれの締約国においても承認」されなければならない「判決」とは、それぞれ、関係する地域の裁判所及び当該地域において承認されなければならない判決をいう。

第十四条 効力発生

1 この条約は、保有する船舶の総トン数の合計がそれぞれ百万トン以上である五の国を含む十八の国が批准、受諾若しくは承認を条件とすることなくこの条約に署名し、又は批准書、受託書、承認書若しくは加入書を事務局長に寄託した日の後一年で効力を生ずる。

2 この条約は、1に規定する効力発生の要件が満たされた後にこの条約を批准し、受諾し、若しくは承認し、又はこの条約に加入する国については、当該国が該当する文書を寄託した日の後三箇月で効力を生ずる。

Article 13
States with more than one system of law

1 If a State has two or more territorial units in which different systems of law are applicable in relation to matters dealt with in this Convention, it may at the time of signature, ratification, acceptance, approval or accession declare that this Convention shall extend to all its territorial units or only to one or more of them and may modify this declaration by submitting another declaration at any time.

2 Any such declaration shall be notified to the Secretary-General and shall state expressly the territorial units to which this Convention applies.

3 In relation to a State Party which has made such a declaration:

(a) in the definition of "registered owner" in article 1(4), references to a State shall be construed as references to such a territorial unit;

(b) references to the State of a ship's registry and, in relation to a compulsory insurance certificate, to the issuing or certifying State, shall be construed as referring to the territorial unit respectively in which the ship is registered and which issues or certifies the certificate;

(c) references in this Convention to the requirements of national law shall be construed as references to the requirements of the law of the relevant territorial unit; and

(d) references in articles 9 and 10 to courts, and to judgments which must be recognized in States Parties, shall be construed as references respectively to courts of, and to judgments which must be recognized in, the relevant territorial unit.

Article 14

Entry into Force

1 This Convention shall enter into force one year following the date on which eighteen States, including five States each with ships whose combined gross tonnage is not less than 1 million, have either signed it without reservation as to ratification, acceptance or approval or have deposited instruments of ratification, acceptance, approval or accession with the Secretary-General.

2 For any State which ratifies, accepts, approves or accedes to it after the conditions in paragraph 1 for entry into force have been met, this Convention shall enter into force three months after the date of deposit by such State of the appropriate instrument.

第十五条 廃棄

- 1 締約国は、この条約が自国について効力を生じた日の後は、いつでもこの条約を廃棄することができる。
- 2 廃棄は、事務局長に廃棄書を寄託することによって行う。
- 3 廃棄は、事務局長への廃棄書の寄託の後一年で、又は廃棄書に明記するこれよりも長い期間の後に、効力を生ずる。

第十六条 改正

- 1 機関は、この条約の改正のための会議を招集することができる。
- 2 機関は、締約国の三分の一以上からの要請がある場合には、この条約の改正のための締約国会議を招集する。

第十七条 寄託者

- 1 この条約は、事務局長に寄託する。
- 2 事務局長は、次のことを行う。
 - (a) この条約に署名し、又は加入した全ての国に対して次の事項を通報すること。
 - (i) 新たに行われた署名又は文書の寄託及びこれらが行われた日
 - (ii) この条約の効力発生の日
 - (iii) この条約の廃棄書の寄託、その寄託の日及び廃棄が効力を生ずる日
 - (iv) この条約に基づいて行われるその他の宣言及び通告
 - (b) 全ての署名国及びこの条約に加入する全ての国に対してこの条約の認証謄本を送付すること。

Article 15

Denunciation

- 1 This Convention may be denounced by any State Party at any time after the date on which this Convention comes into force for that State.
- 2 Denunciation shall be effected by the deposit of an instrument with the Secretary-General.
- 3 A denunciation shall take effect one year, or such longer period as may be specified in the instrument of denunciation, after its deposit with the Secretary-General.

Article 16

Revision or amendment

- 1 A conference for the purpose of revising or amending this Convention may be convened by the Organization.
- 2 The Organization shall convene a conference of the States Parties for revising or amending this Convention at the request of not less than one-third of the States Parties.

Article 17

Depositary

- 1 This Convention shall be deposited with the Secretary-General.
- 2 The Secretary-General shall:
 - (a) inform all States which have signed or acceded to this Convention of:
 - (i) each new signature or deposit of instrument together with the date thereof,
 - (ii) the date of entry into force of this Convention,
 - (iii) the deposit of any instrument of denunciation of this Convention together with the date of the deposit and the date on which the denunciation takes effect; and
 - (iv) other declarations and notifications made under this Convention.
 - (b) transmit certified true copies of this Convention to all Signatory States and to all States which accede to this Convention.

国際連合
への送付

第十八条 国際連合への送付

事務局長は、この条約が効力を生じたときは直ちに、国際連合憲章第一百一条の規定に従い、その条約文を登録及び公表のため国際連合事務局に送付する。

言
語

第十九条 言語

この条約は、ひとしく正文であるアラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語により原本一通を作成する。

末
文

二十一年三月二十三日にロンドンで作成した。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの条約に署名した。

Article 18
Transmission to United Nations

As soon as this Convention comes into force, the text shall be transmitted by the Secretary-General to the Secretary of the United Nations for registration and publication in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations.

Article 19
Languages

This Convention is established in a single original in the Arabic, Chinese, English, French, Russian and Spanish languages, each text being equally authentic.

DONE AT LONDON this twenty-third day of March, two thousand and one.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned being duly authorised by their respective Governments for that purpose have signed this Convention.

附 属 書

燃料油による汚染損害についての民事責任に関する保険その他の金銭上の保証の証明書

2001年の燃料油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約第7条の規定に従って発給した。

船 名	船舶番号又は 信 号 符 号	国際海事機関 船舶識別番号	船 籍 港	登録所有者の氏名又は名称 及び主たる営業所の住所

上記の船舶に関し、2001年の燃料油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約第7条に定める要件を満たす保険証券その他の金銭上の保証が効力を有していることを証明する。

保証の種類

保証の期間

保険者又は保証提供者の氏名又は名称及び住所

氏名又は名称

住所

この証明書は、
まで効力を有する。

政府が

(国の正式名称)

において、
に発給し、又は承認した。

(場所)

(日付)

(発給し、又は承認する職員の名及び官職)

(締約国が第7条3の規定を適用する場合には、国の正式名称を記載する欄以下を次のように置き換えるべきである。)

燃料油汚染損害の民事責任条約

ANNEX

CERTIFICATE OF INSURANCE OR OTHER FINANCIAL SECURITY
IN RESPECT OF CIVIL LIABILITY FOR BUNKER OIL POLLUTION DAMAGE

Issued in accordance with the provisions of article 7 of the
International Convention on Civil Liability for Bunker Oil Pollution Damage, 2001

Name of Ship	Distinctive Number or letters	IMO Ship Identification Number	Port of Registry	Name and full address of the principal place of business of the registered owner

This is to certify, that there is in force in respect of the above-mentioned ship a policy of insurance or other financial security satisfying the requirements of article 7 of the International Convention on Civil Liability for Bunker Oil Pollution Damage, 2001.

Type of Security

Duration of Security

Name and address of the issuer(s) and/or guarantor(s)

Name

Address

This certificate is valid until

Issued or certified by the Government of

(Full designation of the State)

OR

The following text should be used when a State Party avails itself of article 7(c)

この証明書は、

(国の正式名称)

政府の権限の下に、

(団体の名称)

が、

において

に発給した。

(場所)

(日付)
(発給する職員の名前及び階級)

注釈

- 1 国の名称を記載するに当たっては、望ましい場合には、証明書の発給が行われる国の権限のある公の当局の名称を含めることができる。
- 2 保証の総額につき二以上の供給源がある場合には、それぞれの金額を明示すべきである。
- 3 保証が二以上の方式で提供される場合には、これらの方式を列挙すべきである。
- 4 「保証の期間」の欄には、保証が効力を生ずる日を明記しなければならない。
- 5 保険者又は保証提供者の「住所」の欄には、当該保険者又は保証提供者の主たる営業所の所在地を明示しなければならない。適当な場合には、保険契約その他の保証契約が行われた営業所の所在地を明示すべし。

The present certificate is issued under the authority of the Government of (full designation of the State) by:.... (name of institution or organization)

At (Place) On (Date)

.....
(Signature and Title of issuing or certifying official)

Explanatory Note:

1. If desired, the designation of the State may include a reference to the competent public authority of the country where the Certificate is issued.
2. If the total amount of security has been furnished by more than one source, the amount of each of them should be indicated.
3. If security is furnished in several forms, these should be enumerated.
4. The entry "Duration of Security" must stipulate the date on which such security takes effect.
5. The entry "Address" of the insurer(s) and/or guarantor(s) must indicate the principal place of business of the insurer(s) and/or guarantor(s). If appropriate, the place of business where the insurance or other security is established shall be indicated.

(参考)

この条約は、船舶からの燃料油の流出又は排出による汚染損害についての船舶所有者の責任及び強制保険、締約国の裁判所が下す判決の承認等について定めるものである。